

単元名：

社会科学学習指導案「江戸幕府の滅亡」

(全4時間扱い中 第4時)

授業日時 令和3年10月26日(火)第1校時

授業学級 2年A組

授業会場 2年A組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

大政奉還によって、なぜ将軍自らが260年という長い期間続いた江戸幕府を終わらせ、朝廷に政権を返上したのかを尊王攘夷運動や藩と幕府の対立などの幕末の世の中の動きに着目して理解することができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：なぜ、将軍自らの手で政権を朝廷に返上したのかを考える。
- ・活動：幕末の世の中の動きに着目して調べる。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 鎌倉幕府や室町幕府は、争いに敗れるなどして、滅亡したが、江戸幕府はそうでないことに着目し、気付いたことや疑問点から学習問題を設定する。	○「鎌倉幕府や室町幕府の滅亡について記したものと江戸幕府の滅亡について記したものと比べて、何か気付いたことはないですか。」 ◇示したことから気が付いたこと、疑問に思ったことを問い、学習問題を設定する。	15
	【学習問題】江戸幕府は260年も続いたのかかわらず、なぜ将軍自らの手で江戸幕府を終わらせたのだろうか。		
	2. 学習問題に対する予想を立て、追究の見通しを立てる。	○「学習問題に対する予想を書きましょう。」 ◇予想と予想を確かめる方法を確認し、学習課題を据える。	
	【学習課題】藩と幕府の関係など幕末の世の中の動きに着目して考えよう。		
展開	3. 予想に基づき資料を読み取る。 4. 資料を読み、分かったことを発表する。	○「資料から読み取れたことを学習カードに記入しましょう。」 ◇一つ一つの資料の読み取りで終わっている生徒には、関連している内容を矢印で結び、複数の資料を関連付けて読み取るように助言する。 ○「資料からどんなことが分かりましたか。」 ◇発表された意見を、矢印や線でつなぎ、事象の関連が捉えやすいように板書する。 【評価】徳川慶喜が、どのようなねらいで大政奉還を行ったかを尊王攘夷運動や藩と幕府の対立などの幕末の世の中の動きに着目して理解している。(観察・ワークシート)	25
終末	5. 本時の学習を振り返る。	○「学習問題に対する答えを学習カードのまとめの欄に記入しましょう。」	10